

令和2年度 磐田市立南部中学校 学校評価書

学校評価の質問項目を4つのグループに分け、生徒については1学期末と2学期末の年2回の実施とし、年度内での変容を比較することで学校の取組の成果と課題をより明確にすることができるようにしました。今回の数値に関しては、それぞれの質問において「5: そう思う」及び「4: だいたいそう思う」と回答したものを合わせて記載してあります。この結果を受け、来年度の教育課程編成に生かしていきたいと思えます。

【豊かな心】（生活を振り返って）	生徒%	保護者%	教師%	成果と課題	学校関係者評価委員から
1 学校が楽しいと思う。	89.4	90.4	100	○全体としては高い数値を維持できている。特に保護者については、どの項目も目標数値を達成できた。生徒については、項目(1)の数値が上昇し、一定の成果が得られた。重点目標である項目(2)は昨年度より下がり、目標数値に達しなかった。あいさつの必要とともに、人間関係づくり、自分に自信をもつことなど来年度の課題としたい。	○挨拶や返事について生徒、保護者と教師の数値のギャップが大きいのはどう捉えているのか。 ○地域ではあいさつをすると大きな声で返してくれる。自らあいさつしてくれることが理想であるが、難しい年代であると捉えている。
2 挨拶や返事がしっかりできる。	90.3	90.9	67		
3 私たちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	88	95.4	94		
4 南部中に誇りを持っている。	80.9	87	83		

【豊かな心】（行事を通して）	生徒%	保護者%	教師%	成果と課題	学校関係者評価委員から
5 生徒会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる。	85.5	87.6	77	○重点目標である項目(6)については目標の数値を達成することができた。コロナ感染の影響で例年通りの活動ではなかったが、生徒は一生懸命取り組めた。一方、項目(5)については数値が下がりが目立った。生徒が自主的に取り組む、生徒が主役となる活動をするための手立て、指導、助言を検討する必要がある。 ※本年度はコロナ感染の影響があり項目(7)	○コロナ感染症予防ためボランティア活動が難しかったが、地域で保護者の力を借り、できる範囲のボランティアに参加してくれていた。 ○地域の歴史や自然について関心がある数値が低いのは地域の人間としては残念である。学校としても手立てを。
6 躍友祭・緑友祭等の行事(練習・当日)に一生懸命に取り組んでいる。	95.4	96	97		
7 地域の行事やボランティア活動に参加している。					
8 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	50.2	54.6	30		

【確かな学力】（拓く）	生徒%	保護者%	教師%	成果と課題	学校関係者評価委員から
9 授業の内容がよく分かる。	84.6	72.3	79	○保護者の数値は多くの項目において昨年度より高い数値であった。一方、生徒の数値はすべての項目において昨年度を下回り、重点目標である項目(10)については目標を大きく下回る結果となった。コロナ感染によるグループ活動の制限や対話活動の減少は大きな要因と考えられる。 また、パソコン活動については自宅学習期間に活用したが、数値として現れず、生徒の認識として低いと思われる。 来年度から学習指導要領がわかり、評価についても変わるなかで、授業改善が求められている。また、GIGAスクール構想も始まる。今後さらに研修し授業の改善(タブレットの活用含む)に務めたい。	○授業参観をし、どのクラスも落ち着いて授業に取り組んでいる。
10 授業中に先生や友達の話を聞き、すすんで自分の考えを表している。	71.9	63.4	80		
11 すすんで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。	67.8	63.3	57		
12 ALTとの英語の授業を通して、英語への関心が高まっている。	77.1	64.5	80		
13 英会話の力が伸びている。ゆっくりでも英語で相手に自分の思いを伝えることができる。英語で話す相手の言葉を理解できる。	81.4	53.7	-		
14 あじさい学習にすすんで取り組んでいる。	85.1	70.4	84		
15 パソコン等を使い、自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。	76.1	54.6	77		
16 授業や家庭学習で、パソコン等のICT機器を使って学習に取り組んでいる。	72.2	-	-		
17 毎日家庭学習(宿題や塾での学習も含む)に取り組んでいる。	86.7	78.2	77		

【たくましい体】（いのちを守る）	生徒%	保護者%	教師%	成果と課題	学校関係者評価委員から
16 何か夢に取り組んでいるものがある。(部活動・社会体育・習い事など)	85.5	82.6	94	○保護者の数値はすべての項目において昨年度より高く、目標数値を上回った。一方生徒においては昨年度よりは多くの項目において数値は上がったが、重点目標である項目(17)を始め目標数値にわずかに届かなかった。ただし、数値としては向上しているため、今後も今の取組を継続しながら、より生徒に寄り添える時間を増やすための手立てを検討したい。	○部活動の時間が減っていることは、保護者としては気掛かりである。働き方改革等があると思うが、外部指導者の導入など部活動が停滞しないようにしてほしい。
17 学校に相談できる人がいる。	83	93.8	87		
18 南部中学校の先生は、話を聞いてくれ、自分のことをわかってきている。	83.7	91.3	93		
19 家の人とコミュニケーションがとれ、心がつながっていると思う。	87.1	92.8	96		
20 南部中学校の施設や設備は安心して使える。	83.9	91.6	70		
21 南部中で目指している子どもの姿や教育内容について知っている。	-	82.2	-		

22 南部中のホームページを見たことがある。	-	75.0	-	○昨年度よりさらに数値は向上している。今後さらに学校活動が発信できるように、内容の充実を図りたい。	
------------------------	---	------	---	---	--